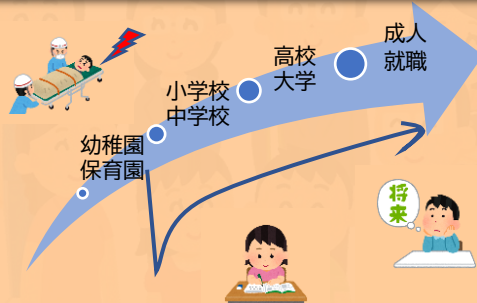


発達障がいに似ていますが、高次脳機能障がいは
事故や病気などによる後天的な脳障がいです。
前との違いに対する心の支援が親子共に必要です。



事故や病気で傷ついた脳は、損傷部位や大きさによって異なる症状を呈します。退院後も時間をかけて改善していきますが、お子様の場合、成長や環境の変化によって、次々と課題が生じます。頑張っても周りの子についていけず悩む時期も出てきます。成績不振、いじめ、不登校などで進路に迷うことがあるかもしれません。

その時々課題に対応していきますが、その際、お子様のできないことだけでなく、よいところを見つけて伸ばすことが大切です。「できた!」、「楽しい!」という経験の積み重ねが、大人になった時に必要な自尊心を育てていきます。

☆支援者・仲間☆



周りの方や支援機関の人たちが理解してサポートしてくれると暮らしやすくなります。ご家族や担任の先生だけで頑張らずに、相談して支援の輪を広げましょう。

大人に比べて高次脳機能障がいのお子様は少なく、同じような方に出会う機会がありません。「つばさジュニア」は、福岡市近郊の高次脳機能障がいのお子様とご家族の会で、交流会などを行っています。(窓口は当センターです)

ご相談はこちらへ!

高次脳機能障がい支援センター

(年齢にかかわらずご相談を受けています)

〒810-0072 福岡市中央区長浜 1-2-8

あいあいセンター4階

(福岡市立心身障がい福祉センター)

電話: 092-406-2455 Fax: 092-738-3203

メール: [aiiai-kojino@fc-swc.org](mailto:aiai-kojino@fc-swc.org)

【交通のご案内】

*西鉄バス

「福祉センター前」 すぐ
「那の津口」 徒歩 5 分
「天神」 徒歩 12 分

*市営地下鉄

「天神駅」 徒歩 12 分

*西鉄電車

「福岡天神駅」 徒歩 15 分



【福岡県の他の高次脳機能障がい相談窓口】

○福岡障害者リハビリテーションセンター

〒811-3113 古賀市千鳥 3 丁目 1 番 1 号

☎092 (944) 1041

○産業医科大学病院

〒807-8556 北九州市八幡西医生ヶ丘 1 番 1 号

☎093(603)1611

○久留米大学病院

〒830-0011 久留米市旭町 67 番地

☎0942 (35) 3311

各県に高次脳機能障がいの相談窓口があります。

ご存知ですか?

子どもの 高次脳機能障がい

勉強しても覚えられない、同じことを聞く、気が散りやすい、急に怒り出す、あくびが多いetc...



なまけているわけでも、ふざけているわけでも
親のしつけのせいでもありません。

脳にダメージを受けた後遺症です!

大人に比べ、子どもの高次脳機能障がいはまだあまり知られていません。症状の理解や適切な対応が必要です。

高次脳機能障がい支援センター

高次脳機能障がいの原因

◆脳の病気

脳炎・脳症（インフルエンザ、麻疹等）

脳出血・脳梗塞・脳腫瘍

◆事故による脳の損傷

脳外傷（交通事故、転落・転倒等）

低酸素性脳症（溺水、窒息等）

高次脳機能障害の診断や評価

◆画像の検査

頭部のMRI、CTや脳波、脳血流の検査等

◆神経心理学的検査

知能検査、記憶検査、注意機能検査など

☆診断評価は病院で受けます。

まずは主治医の先生にご相談ください。

福祉制度について

◆手帳

障がいの手帳を申請できることがあります。（療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、身体障害者手帳）手帳があると支援が受けやすくなります。

◆福祉サービス

放課後等デイサービス、ガイドヘルパー、短期入所などを利用できることがあります。相談支援事業所に相談をして、計画をたててもらう必要があります。

*就労支援や障害年金など、大人になった時に受けられるサービスもあります。

症状と対応 症状はおひとりおひとり異なります。お子様の状況に合わせた工夫を見つけて対応します。

記憶障がい

- ・約束、人の名前など新しいことが覚えられない
- ・同じことを何度も聞く
- ・一生懸命勉強しても翌日忘れている
- ・なくし物や忘れ物が多い



- ・聞いただけでは忘れてしまうので、見て確認できるようにする
- ・語呂合わせや物に例えて印象に残る覚え方をする
- ・置く位置を一定にして、確認する習慣をつける

遂行機能障がい

- ・何をしてもいかわからずぼーっとする
- ・後先考えずに行動する
- ・時間割の準備ができない
- ・片付けができない



- ・ひとつずつ声をかけながら一緒に行く
- ・手順表を作って、一緒に確認しながら進める
- ・やり方を決めて、習慣化するように手伝う
- ・置く場所に絵や写真を貼ってわかりやすくする

社会的行動障がい

- ・ほしい物、やりたいことへの気持ちが抑えられない
- ・急に泣き出したり怒ったりする
- ・思い通りにしないと興奮して暴れる
- ・ひとつのことにこだわる
- ・相手の立場がわからない
- ・年齢不相応に甘えたり頼ったりする



- ・本人の気持ちを聞く
- ・最初から必要な物しか提示しない
- ・不安やイライラの原因を減らす
- ・興奮している時は場面を変える
- ・許せる範囲で本人のやり方を尊重する
- ・本人にわかるように説明し、ルールを決める
- ・うまくいった時にほめる

注意障がい

- ・集中できず気が散りやすい
- ・気になるとすぐ離席やお喋りする
- ・1度にたくさんのことを言われるとわからない
- ・プリントを飛ばしたり、文字を読み間違えたりする



- ・集中できる時間を把握して、活動を組み立てる
- ・席の位置や周りの環境などに配慮する
- ・短い言葉でわかりやすく、ひとつずつ伝える
- ・注目できるように他を隠したり、線をひいたりする

易疲労性（疲れやすい）

- ・あくびが多い
- ・授業の後半や午後になるとぼーっとする
- ・「疲れた」「眠い」と言い、だらだらする
- ・学校から帰るとすぐ寝る



- ・お茶を飲んだりストレッチしたりする
- ・別室（学校なら保健室等）で休憩する
- ・余裕のあるスケジュールにする
- ・さぼっているわけではないことを周りが理解する

その他

うまく喋れない（失語症）、半分を見落とす（半側空間無視）、形や空間がわからない（失認）、不器用（失行）、道に迷う（地誌的障がい）など、他にもたくさんの症状があります。